

平成29年度 第1回羽咋市総合教育会議 会議録（要約）

- 1 日 時 平成29年9月21日（木）15時～
- 2 場 所 羽咋市役所 401会議室西
- 3 出席者 羽咋市長 山辺芳宣
教育委員長 井上克彦
委員長職務代理者 今井和秀
教育委員 木谷千恵子
教育委員 安達吏和
教育長 北山吉郎

（事務局関係）

- 総務部長兼総務課長 備後克則
総務課参事 吉田浩一
総務課行政係長 蓮本義哲
教育次長兼学校教育課長 井上和彦
学校教育課学務担当課長 濱名和久
学校教育課課長補佐 中野好一

4 協議事項

- (1) 羽咋市の学校教育の現状について
(2) 羽咋市公共施設等総合管理計画について
(3) その他

5 会議経過の概要

次のとおり

○市長あいさつ

○協議事項

- (1) 羽咋市の学校教育の現状について
資料に基づき、教育委員から説明後、意見交換。
- (2) 羽咋市公共施設等総合管理計画について
資料に基づき、事務局から説明。計画内容について確認。
- (3) その他
会議全般を通しての、意見交換。

主な意見等は下記記載のとおり。

【出席者からの質疑・意見等】

(井上委員長) 教育委員になって4年。最近の市内の小中学校が落ち着きを取り戻し、学力向上に向かっている。特に以前に心配されていた中学校について、建て替えがなされてから落ち着いて学力も上がってきている。市長をはじめ関係者の努力によって教育環境が整備された結果であると思い、感謝している。また、先生方の努力もあってのことだと思う。最近話題になっている時間外勤務については、教育委員会として改善に取り組んでいきたい。

(今井委員) 学校の防災、防犯について、学校の校舎は耐震が終わりハード面は整っている。あとは生徒が安心して学校生活を送れるようにしていくことが必要である。そのために防犯カメラの設置について要望したい。宝達志水町でも予算が通っている。犯罪の抑止力にもなるのでお願いしたい。

(木谷委員) 平成32年度から英語が必修科目になる。ALTも1人増員している。英語検定も受験できるように事前にスーパーイングリッシュスクールとして講習を受ける予定となっている。また、学校での支援が必要な生徒が増えている。今後も増加が予想されることから支援員の充実をお願いしたい。

(安達委員) 小中学校に子どもがいる。羽咋小学校では金曜日に英語の日として取り組んでいる。このような取り組みができるのは、環境が落ち着いているためと思っている。図書館事務員について、各校1名ずつの配置をしてほしい。授業での利用や検索などさまざまな利用があるので本の貸し借りなどを含めて学校の活気のためにもお願いしたい。

(北山教育長) いじめ不登校について、現在は小さいいじめにも認知の目を向けている。そのため件数は増えているが、指導しながら安心して学校生活を送れるように対応している。不登校については平成26年度から半減している状況である。教員の時間外について、若干長時間勤務が見られる。土日も含めて、時間前出勤や子ども会行事などいろいろな行事に参加している時間も含むので時間が多くなっている。今後改善方法を検討していく。

複式学級について来年度以降、余喜小学校で複式学級が発生する見込である。

- (山辺市長) 学力テストについて、小中学校の成績が県内トップクラスであると認識している。先生方などの努力のたまものであると思っている。人口減少の中、教育の観点から移住が勧められる。
- 学校設備について、トイレの洋式化については来年度以降も予算化していきたい。防犯カメラなどについて、現在設置されているのは羽咋中のみ。一度には無理だが、今後教育委員会と協議しながら対応していきたい。
- タブレットについて、中学校には配置されていないので今後検討していきたい。
- 先生方の時間外勤務について、勤務内容の分析をしっかりと把握して、基準等をはっきりさせていきたい。英語が必修となるので、ALTを増加している。
- 支援員や図書館司書については、市役所の職員も減らしており、人件費もかかることから、財政事情や状況を見ながら判断していきたい。
- いじめ不登校が減少していることはホッとしている。特に羽咋中学校は学校が老朽化していたため学校での生活態度などがよくなかったが、先生方の努力や環境整備などで現在は改善している。これも教育委員の方々のおかげであると思っている。
- 複式学級について、余喜小学校に導入が見込まれる。以前は粟ノ保小が心配されたが、現在は西北台小校区の子どもの減少が激しいことから、今後学校の経営について心配される。
- 学校統合については、現段階では考えていないが、今後の在り方について教育委員会でも検討してほしい。

- (北山教育長) 先生方の時間外勤務については、実態を把握するため、全ての在籍時間を提出してもらっているが、今後県の方針が決まればそれに合わせて統計をとっていきたい。

- (山辺市長) 時間外勤務は、行政では上司の命令でのみカウントされる。線引きが必要である。

- (井上委員長) 教員の時間外勤務に対する考え方があいまいであった。教員調整額があるためどれだけ残業をしても同じだという意識があった。本務の範囲を明確にして、時間外勤務の認識をはっきりさせる必要がある。意識改善が必

要であろう。

(今井委員) 時間外勤務について、境界がはっきりしない。中学校では部活動があるので時間外勤務が多くなっている。文科省が部活動指導員導入と言っているが、その人件費は誰が出すのか、県か市か。業務のスリム化のため分業が必要である。その分の人件費もかかるので、県や国に要望して欲しい。

(山辺市長) 小中学校の学力レベルが高いことについては教育委員会や先生方に厚く御礼申し上げる。
当面取り組む内容としては、トイレの洋式化、タブレット、防犯カメラ等の設置について検討していくことになる。
英語講師や支援員、図書館司書についても状況を見ながら相談させていただきたい。
邑知中学校、西北台小学校が大規模改修の時期に来ていることは承知しているが状況を見ながら対応していきたい。

6 次回会議開催について

会議は年2回の開催を予定しているので、次回、予算編成についての説明時期に開催を予定。

7 閉会

井上教育委員長あいさつ